

消 防 災 第 6 7 号
国 水 砂 第 3 6 7 号
令 和 6 年 3 月 2 8 日

都道府県防災主管部（局）長 殿
都道府県砂防主管部（局）長 殿

消 防 庁 国 民 保 護 ・ 防 災 部 防 災 課 長
（ 公 印 省 略 ）
国 土 交 通 省 水 管 理 ・ 国 土 保 全 局 砂 防 部 砂 防 計 画 課 長
（ 公 印 省 略 ）

土砂災害に対する防災訓練の実施について（依頼）

防災行政の推進に御尽力いただき、厚く御礼申し上げます。

さて、令和5年度においても、台風第13号等で土砂災害が発生するなど、全国各地で土砂災害が発生し、死傷者を伴う被害も発生しました。

一方で、近年土砂災害が発生した地域において、早めの避難により難を逃れた事例や、避難確保計画を策定し早期避難を習慣にしていた要配慮者利用施設において人的被害を免れた事例など、地域のつながりや平時からの訓練が効果的に働いた事例の報告を頂いております。（参考別添）

各地方公共団体においては、令和6年度についても、6月の土砂災害防止月間を中心に、防災部局と砂防部局が一体となり関係機関と連携し、防災訓練を実施するようお願いいたします。また、この旨、管内市町村に対して周知するとともに、下記について御助言いただくようお願いいたします。

記

1. 土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律（平成12年法律第57号。以下、「土砂災害防止法」という。）第3条に基づく土砂災害防止対策基本指針（令和3年8月31日国土交通省告示第1194号）四1において、市町村は関係行政機関と連携し実践的な避難訓練を実施すること、土砂災害警戒区域の住民等が主体となって実施するように促すとともに支援することなどを求めており、令和6年度の避難訓練は、土砂災害警戒区域が存する市町村において、土砂災害警戒区域内の住民等を対象に少なくとも年1回確実に実施すること。
2. 令和3年5月の土砂災害防止法改正により、土砂災害防止法第8条の2第5項において要配慮者利用施設管理者等は防災訓練を行い、その結果を市町村長に報告することが義務づけられたことを踏まえ、要配慮者利用施設の避難確保のため、同管理者等に対して、市町村とも積極的に連携を図って訓練を実施するよう働きかけること。

3. 市町村の防災訓練の実施に要する経費について、普通交付税措置が講じられていること。

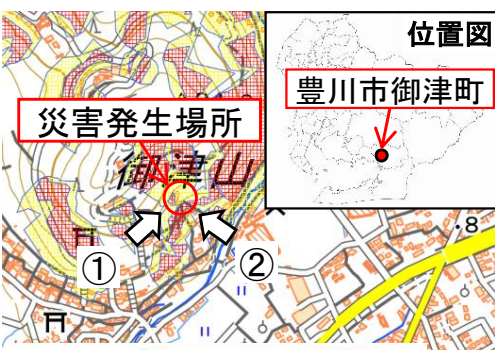
担 当：消防庁国民保護・防災部防災課
課長補佐 福原、防災調整係長 遠矢
電話：03-5253-7525 FAX：03-5253-7535

国土交通省水管理・国土保全局
砂防部砂防計画課 地震・火山砂防室
企画専門官 竹島、地震対策係長 鈴木
電話：03-5253-8468 FAX：03-5253-1610

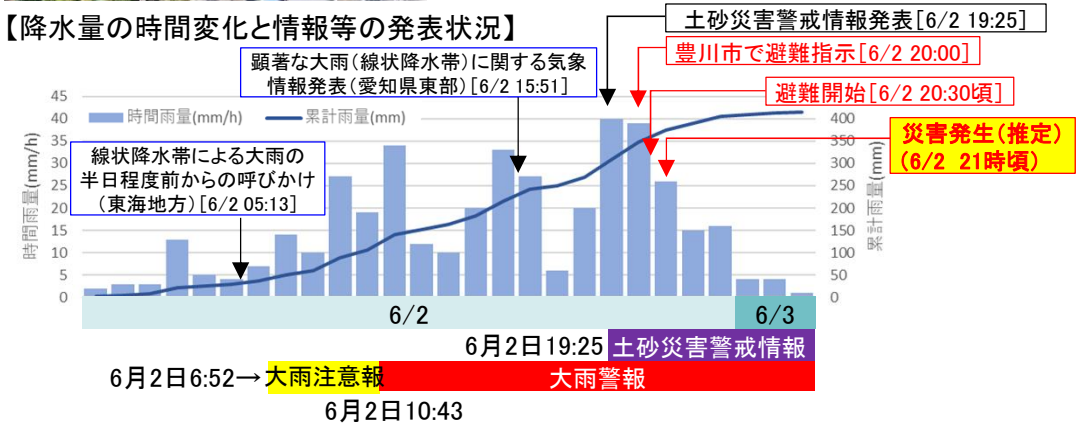
土砂災害の発生のおそれに関する情報等を活用した早めの避難により被害を逃れた事例

- 令和5年6月2日からの大雨においては愛知県豊川市御津町において、令和5年6月30日からの大雨においては山口県周南市福川地区において、住宅等が巻き込まれる土砂災害が発生。
- これらの大雨では、線状降水帯による大雨の可能性について呼びかけがなされるなど、大雨や土砂災害に関する情報を元にした事前の避難により、住宅が全壊するなどしたが、人的被害はなかった。

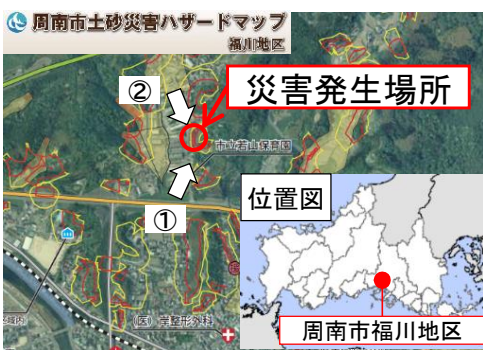
愛知県豊川市御津町の事例



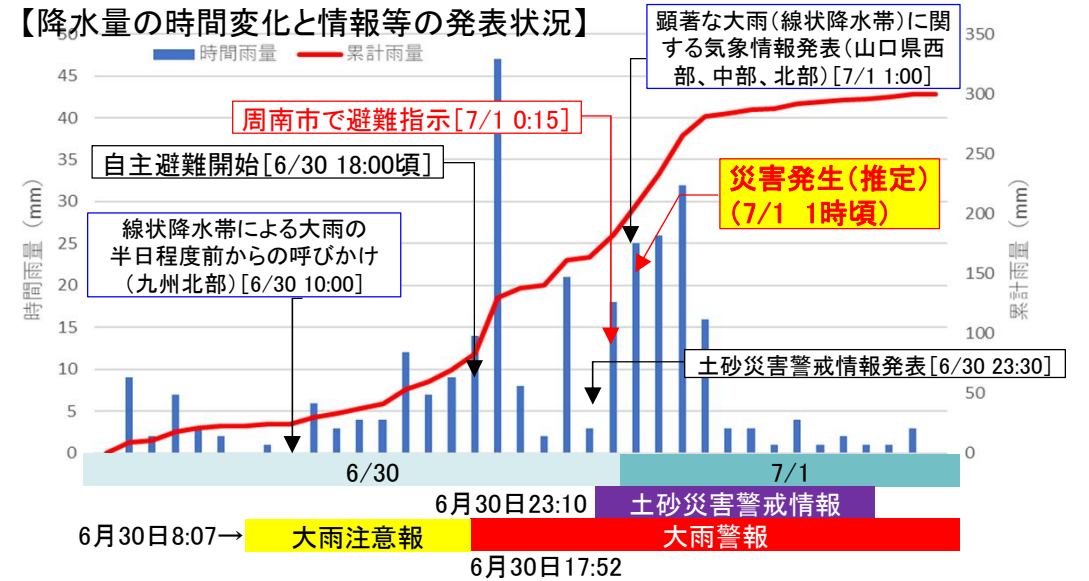
豊川市においては、これまで例年6月に土砂災害防災訓練を実施しており、避難訓練や住民に対して土砂災害に関する講習会を行うなど、土砂災害による被害を防ぐための取組を行っている。



山口県周南市福川地区の事例



近年土砂災害が多く発生しており、土砂災害警戒区域等に指定されている住民の防災意識が高まっている。また、平成30年の災害を教訓に、国・県・市間で情報共有を行い、早めの対応が生かされている。



日頃の備えにより被害を逃れた事例(長野県茅野市)

参考別添

○令和3年9月5日、長野県茅野市下馬沢川において、複数の民家が巻き込まれる土石流災害が発生。
 ○地域では例年避難訓練を実施し、災害への意識を高めていたことに加え、避難指示発令後、防災無線により避難を呼び掛けたり、市消防団員等が住民に直接声を掛けて回り、住民の多くが事前に避難して人的被害はなかった。

大雨警報
(土石災害)発表

土石災害警戒
情報発表

避難指示発令

土石流発生

9/5

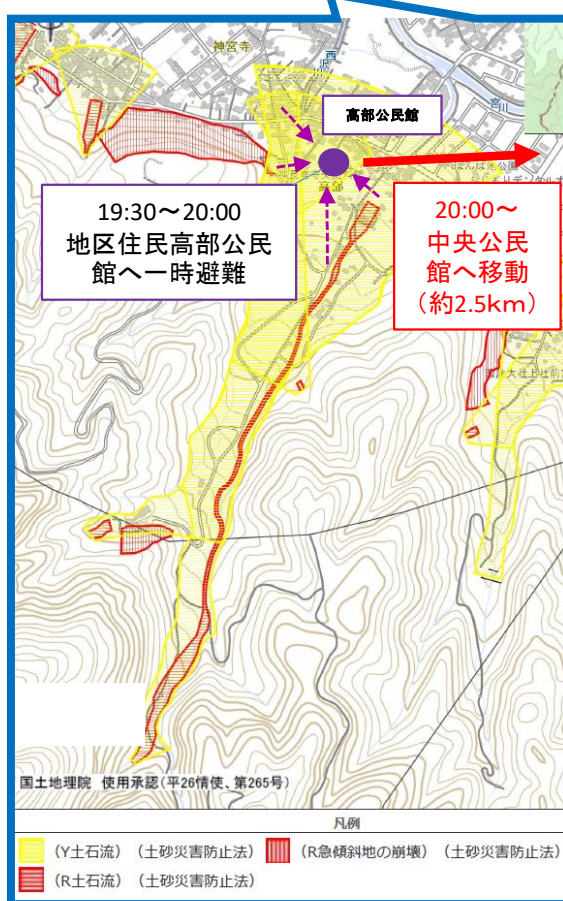
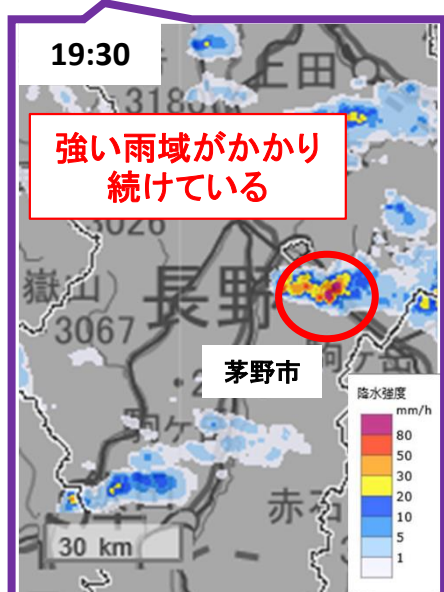
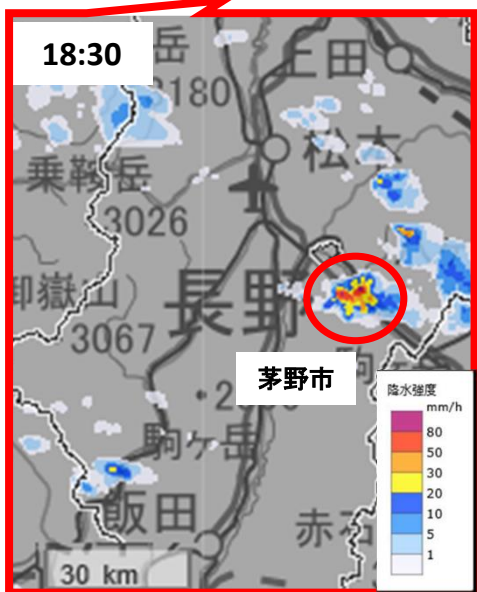
18:34

19:40

19:45

地区の多くの住民が避難

(夜間)



【被害状況】

人的被害:なし

全壊:3

床上浸水:4 床下浸水:29

非住家:52

茅野市における日頃からの取組



防災マップの作成



避難訓練の実施

要配慮者利用施設が事前の備えにより難を逃れた事例(大分県日田市) 参考別添

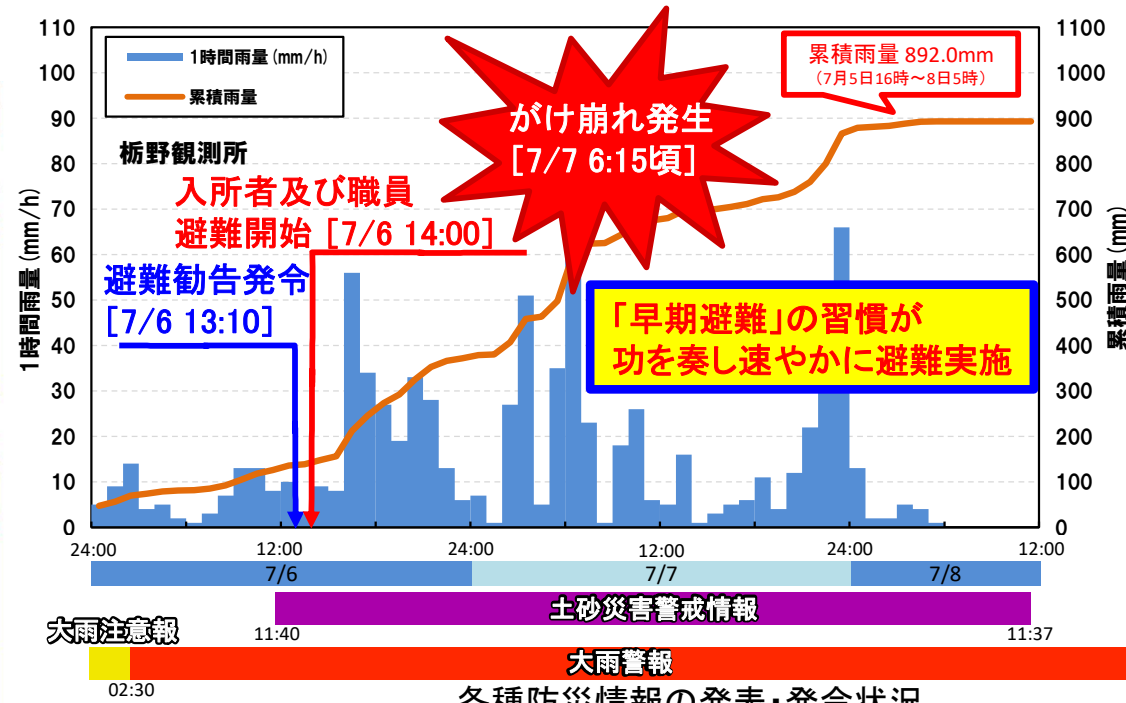
ひたし

なかつえ とちの

あんじゅえん

- 令和2年7月豪雨において、大分県日田市中津江村栃野地区に位置する高齢者福祉施設「安寿苑」(土砂災害警戒区域内に位置)でがけ崩れが発生。施設に被害が生じたものの、前日に入所者らが避難したため人的被害はなかった。
- 同施設では約10年前に避難計画を策定。近年多発する豪雨に対応するため、「警戒レベル3で避難する」ことを盛り込むなど早期避難を習慣にしており、今回も速やかに避難したことで難を逃れた。

土砂災害警戒区域等の指定状況



各種防災情報の発表・発令状況

- 【災害の経緯: 令和2年7月豪雨】
- 6日(月) 2:30 大雨警報発表
 - 11:40 土砂災害警戒情報発表
 - 13:10 避難勧告発令
 - 14:00 避難開始
(入所者3名、職員5名が中津江振興局へ避難)
 - 16:30 避難指示(緊急)発令
 - 7日(火) 6:15頃 施設周辺で土砂災害発生
 - 8日(水) 11:37 土砂災害警戒情報解除



施設周辺の土砂災害の発生状況

